



# J R 連合 NEWS

JRに集う  
すべての仲間の  
JR連合への  
総結集を！！

2022 年度

No. 70

2023年2月7日

日本鉄道労働組合連合会

## J R 西労組第 41 回中央委員会

### 安全を基礎に未来を切り拓く運動を展開！

J R 西労組は2月3日、大阪市内で「第41回中央委員会」を開催し、2023春季生活闘争方針をはじめ当面する諸課題の解決に向け、全組合員が一丸となって取り組むことを確認した。

主催者を代表し挨拶に立った上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）は、冒頭、安全・安定輸送をはじめ日々の業務に精励する組合員に敬意を表した上で、1月24日に発生した近畿地区における大雪に伴う輸送障害について触れ、再発防止に向け、現場の声と向き合いつつ、系統を越えた建設的な議論を進め、労使協議を徹底していく決意を述べた。その後「①安全確立、②2023春季生活闘争、③離職防止の取り組み、④政策・政治活動」について所信を述べ、「激変する環境下であっても組合員が夢や希望・誇りを持ち続けられる職場や働き方を構築していこう」と委員各位へ呼びかけ、今後展開する諸活動により一層の協力・連携を要請した。



代表挨拶を行う上村委員長（左）  
集約答弁を行う羽野書記長（右）

来賓として、JR連合から鎗光俊勝労働政策局長が出席し、「①安全確立、②2023春季生活闘争、③政策・政治活動」について所信を述べた上で、「今次闘争は、JR産業が持続的発展を遂げられるか否かの分岐点となる。全組合員が一丸となって、『未来づくり春闘』の取り組みを深化させ、すべての仲間の賃金・労働条件を働きの価値に見合った水準へと引き上げ、JR産業の魅力を向上させていこう」と力強く訴えた。

### あらゆる「人財の投資」を求め、全組合員が一丸となって取り組む！

議事では、執行部から「基準昇給の完全実施」「ベースアップ3,000円」「初任給の引き上げ」「年間臨給5.0ヵ月」等を要求項目に掲げる2023春季生活闘争方針を含む当面の活動方針について提起された。これに対して方針を補強すべく、14人の中央委員から安全確立に向けた取り組み、春闘方針、業務課題、離職、政策・政治課題等について発言があった。その後、執行部答弁及び羽野敦之書記長の総括答弁を経て、全ての議案が満場一致で採択され、上村中央執行委員長の団結ガンバローで締めくくった。

J R 西労組は、組合員と家族の負託に応えるために、全組合員の総団結により、当面する課題の解決に取り組むとともに、安全を基礎に未来を切り拓く運動を展開していくこととしている。

